#### PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

01-225961

(43)Date of publication of application: 08.09.1989

(51)Int.CI.

G03G 9/08

(21)Application number : 63-050602

(71)Applicant:

**FUJITSU LTD** 

(22)Date of filing:

05.03.1988

(72)Inventor:

TATEIWA YOSHIHIRO

**KO KATSUJI** 

KATAGIRI YOSHIMICHI KASHIWAKAWA TAKAHIRO

DATE HITOAKI

**SARUWATARI NORIO** 

#### (54) TWO-COMPONENT DEVELOPER FOR ELECTROPHOTOGRAPHY

#### (57)Abstract:

PURPOSE: To widen the characteristics between a toner and a developing device and the adaptation latitude of conditions by forming a toner to be incorporated into an initial developer so as to have the grain size distribution different from the grain size distribution of a toner for replenishment.

CONSTITUTION: Continuous printing is executed by using the developing device and the toner for replenishment and the toner having the grain size corresponding to the difference in the grain size from the toner for replenishment is added into the initial developer by using the toner grain size distribution at the point of the time when the change in the grain size distribution of the toner in the developing device as a model. The change in the toner grain size distribution in the initial state of setting is thus prevented and the change of images is eliminated. The adaptation margin of the grain size of the toner and the conditions of the developing device is thereby widened and the development of the toner and the developing device is facilitated by adopting at the point of time when the equilibrium is attained as an evaluating standard.

#### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

## ⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

# @ 公開特許公報(A) 平1-225961

®Int. Cl. ⁴

識別記号

广内整理番号

@公開 平成1年(1989)9月8日

G 03 G 9/08

7265-2H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

電子写真用二成分現像剤 60発明の名称

> 頭 昭63-50602 创特

20出 頭 昭63(1988)3月5日

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社 整 弘 岩 700発明 者 立 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社 治 @発 明 者 胡 翻

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社 道 者 片 桐 個発 明

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社 弘 柏 Ж 貴 和発 明 者

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社 勿出 願 人

外3名 個代 理 人 弁理士 青 木

最終頁に続く

1. 発明の名称

電子写真用二成分現像剤

- 2. 特許綾求の範囲
- 1. 電子写真現像法に用いられる二成分磁気ブ ラシ現役剤において、初期現役剤中に含まれるト ナーが補給用トナーと異なる粒径分布を有するこ とを特徴とする電子写真用二成分現像剤。
- 3. 発明の詳細な説明

(概 要)

電子写真現像法に用いられる二成分磁気ブラシ 現像剤に関し、

安定した印字品質を長期にわたり雑持すること を目的とし、

初期現像剤中に含まれるトナーが補給用トナー と異なる粒径分子を有する二成分現像剤により構 成する。

#### 〔産業上の利用分野〕

本発明は電子写真の電子写真現像法に用いられ

る二成分系磁気ブラシ現像剤に関する。

#### 〔従来の技術〕

電子写真法としては、米国特許第 2297691号等 に記載された方式が周知である。これは、一般に は、光導電性を有する静電潜像担体ににコロナ放 電などにより一様な静電荷を与え、種々の手段に よりこの静電潜像担体上に光像を照射することに よって電気的潜像を形成し、次いでこの潜像をト ナーと呼ばれる着色微粉末を用いて現像可視化し、 必要に応じて紙等にトナー画像を転写した後、圧 力、熱、光等により定着を行い、印刷物を得るも のである。

前記トナーの現像方法としては、特に米国特許 第 2786439号等に記載された磁気ブラシ現像方法 が広く実用化されている。この磁気ブラシ現像方 法について説明すると、磁性キャリアとトナーと を混合撹拌して互いに逆極性に摩擦帯電させた磁 性現像剤を用い、この磁性現像剤を、磁石上に保 持したブラシ状の穂により前記節電潜像担体表面

を協過することにより、前記トナーのみを電気的な吸引力により担体表面上に分離付着させ、静電機を現像するものである。従来、磁性現像剤としては所謂二成分系磁性現像剤が用いられ、即ち前記キャリアとして平均粒径 100m程度の鉄粉、フェライト粉、マグネタイト粉等の磁性粉末はおいたが表または合成ではこれ、また前記トナーとして天然または合成高分子物質よりなる結着樹脂中に着色剤等を分散させ、平均粒径10m程度に微粉砕した非磁性絶縁性粉末が常用されている。

#### (発明が解決しようとする課題)

\*\* , 3 ×

従来の二成分系磁性現像剤を用いた場合、トナーの持つ粒径分布に対して、実際の現像に消費されやすい粒径のトナーが優先的に付着現像されるため、初期に両質が変化しやすく、画像品質が劣化するという問題があった。この選択現像は、トナー濃度の低い系では平衡状態に達するのが速いため、殆ど問題にはならないが、トナー濃度が高

かつ初期の商質の変化を減らし、安定した印刷を 可能にする現像剤の構成を提供することにある。

### 〔課題を解決するための手段〕

かかる本発明の目的は、電子写真現像法に用いられる二成分磁気プラシ現像剤において、初期現像剤中に含まれるトナーが補給用トナーと異なる 粒径分布を有することを特徴とする電子写真用二 成分現像剤により達成される。

本発明において、この現像剤は、好ましくは、 適用される現像プロセスにおいて補給用トナーを 用いて連続印刷を行った際に、粒径分布の変化が 平衡状態に達した時点をモデルとし、初期の現像 剤中のトナーを、このモデルを模した粒径分布に 調整することにより得られる。

#### (作用)

本発明に従えば、各現像装置と補給用トナーを 用いて連続印刷を行い、現像装置中のトナーの粒 径分布の変化が平衡に達した時点でのトナー粒径

い系ではその影響が顕著に現れるため、トナー粒 径と現像装置の条件を互いに十分に調整すること が必要となる。具体的な解決法としては、まず、 トナーの粒径分布を決めることが考えられるが、 製造時における収率が悪化するというコスト的な 問題があるため、この方法のみで解決するには限 界がある。従って、これと平行して、トナーを粒 径分布の全体に亘り一様に消費するように装置の 条件を調整すれば良い。しかし、現実には、技術 的に制約が多く、適当な条件を見つけるのは極め て困難であるために、選択現像が起こることによ る画像品質の劣化は免れなかったのである。また、 用いる現像装置によってトナー物性の適正値が異 なるため、現像装置の種類だけトナーの種類が必 要であるという問題もあり、新機穰に従来機種の トナーをそのまま適用することは難しかったので ある.

従って、本発明の目的は、トナーと現像装置間の特性および条件の適合許容幅を広げ、トナーおよび現像装置の開発をより簡便にすることができ、

#### (実施例)

以下、実施例により本発明を説明するが、本発明はこれによって限定されるものではない。

実施例および比較例

ポリエステル樹脂 (ME2150、花王製) 95重量部 アゾ系染料 (ポントロンS-34、オリエント化学製) 2 重量部 カーポンプラック

(Black Pesris L、キャブラック製) 3 重量部 を溶融混譲後、粉砕分級し、平均粒径 1 1 mmの 絶縁性トナーを得た。

次に、

スチレン-アクリル樹脂

(P67 改、花王駿)

32重量部

鉄微粉末(粒子径2mm、14k0e での

保磁力130emu/g 、関東電化製) 65重量部 カーボンブラック

(Black Pearls 2000、キャブラック製) 3 重量部を溶融混譲後、粉砕分級し、平均粒径 2 0 mmの磁性キャリアを得た。

(1) このようにして製造された磁性トナーと磁性キャリアをボールミルにて混合撹拌し、磁性現像剤を調製した。得られた磁性現像剤は、トナー濃度5~30重量%の範囲で、トナー比電荷が一10~-15μ C/g と非常に優れた帯電性を示した。(2) さらに、熱ロール定着方式の市販複写機に

より印字試験を行ったところ、トナー温度5~ 30重量%の範囲で、画像背景部のかぶりやキャ リア付着の少ない良好な画像が得られた。

(3)次に、初期トナー濃度を30重量%に設定し、トナーを補給しながら千枚の印字を行ったところ、徐々に解像性が悪化するとともに分布を認べた。ここで、粒径の布を調べた結果、ほぼ粒径8μm未満のトナーが選択的に現像されており、初期に個数で70%あった。で現像されており、初期に個数で70%あった。そこで、装置条件を千枚印字後の現像削に適合さるよう関整しなおした上で再度印字を行ったところ、(2)と同様の良好な画像が得られた。

(4) 8 μ m 未満を分級して粒径分布を大きい方向にシフトさせたトナーを、補給用トナーに対して徐々に添加することによって、8 μ m 以下の粒径が5 0 %になるように調整し、これを初期現像利用トナーとした。このトナーを用いてトナー濃度3 0 重量%の初期現像剤を作り、未調整のトナーを組給しながら5 千枚の印字を行ったところ、

初期状態からほぼ変化すること無く、 (2) と間 様の良好な画像が得られた。

## (発明の効果)

本発明の現像剤によれば、トナーおよび現像装置の開発、調整を簡便にすることができ、また長期間にわたり安定した印字品質を維持することができる。

特許出願人

富士通株式会社

特許出賦代理人

 弁理士
 青
 木
 期

 弁理士
 西
 舘
 和
 之

 弁理士
 内
 田
 幸
 男

弁理士 山 口 昭 之

## 特蘭平1-225961 (4)

第1頁の続き

内